

最後の夏（日本画）

著者	伴 百合野
雑誌名	北海道女子短期大学研究紀要
巻	14
ページ	81-81
発行年	1980
URL	http://id.nii.ac.jp/1136/00001923/

最後の夏 （日本画）

伴 百合野



まだ成熟しきっていないものに“蒼りんご”のような甘酸っぱい香りを感じます。
ある朝、身近にいた少年が何の予告もなく忽然と消えてしまって、そのあとには香り
だけが残りました。消え去る空白の時、彼は何を考えたのでしょうか… （80号F）